

【担当部局：教育委員会】

県民の皆さんとめざす姿

障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが、可能な限り同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育システムの構築が着実に進み、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学びの場において、子どもたちが自立と社会参画のために必要な力を身につけています。

平成 31 年度末での到達目標

子どもたちの自立と社会参画をめざして、一人ひとりのニーズに応じた早期からの一貫した支援が行われ、各発達段階で必要な能力や態度が養われることにより、子どもたちの進路希望が実現しています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度		31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値
特別支援学校 高等部の一般 企業就職希望 者の就職率		100%	100%	100%		100%
	100%	100%	100%			
目標項目の説明と平成 31 年度目標値の考え方						
目標項目 の説明	一般企業への就職を希望している県立特別支援学校高等部の生徒の就職率 (就労継続支援 A 型事業所を除く)					
31 年度目標 値の考え方	一般企業への就職を希望している生徒全員の希望が実現できることを目標に、毎年 100%に 設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度		31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値
22401 早期から の一貫した支援 の推進 (教育委 員会)	特別支援学級に おいてパーソ ナルカルテを 活用している 小中学校の 割合		70.0%	74.7%	87.4%		100%
		59.2%	70.7%	80.9%			
22402 特別支援 学校のキャリア 教育の推進 (教 育委員会)	特別支援学校版 キャリア教育 プログラムを 作成した特別 支援学校の 割合(累計)		50.0%	68.0%	88.0%		100%
		37.5%	62.5%	82.4%			

活動指標		27年度	28年度	29年度	30年度		31年度
基本事業	目標項目	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値
		22403 特別支援学校の整備（教育委員会）	「三重県特別支援教育推進基本計画」に基づき整備された特別支援学校数（累計）	—	0校	2校	3校

現状と課題

- ①発達障がいを含む特別な支援を必要とする子どもたちが増加しており、市町教育委員会と連携し、小中学校へのパーソナルカルテの活用を進めています。引き続き、適切な指導・支援や校種間での確実な支援情報の引継ぎなど、早期からの一貫した支援を進める必要があります。
- ②医療的ケアの必要な子どもたちは、特別支援学校や小中学校に一定数在籍しており、教員と常勤講師（看護師免許所有。市町にあっては看護師）が、医療的ケアを実施するために必要な知識と技能を身に付け、連携・協力して医療的ケアを実施する必要があります。
- ③より多くの生徒が幅広い選択肢の中から、希望する進路を選択していけるよう、キャリア教育サポーターを配置し、生徒本人に適した職種・業務と必要な支援の方法を企業に提案する形の職場開拓を行っています。引き続き、就労に向けた作業学習や職場実習に取り組むとともに、職域を拡大する必要があります。
- ④特別な支援を必要とする子どもたちがどの学校にも在籍する可能性があることから、引き続き、教員の特別支援教育に係る専門性の向上を図る必要があります。
- ⑤高等学校に在籍する発達障がいのある生徒への支援をより充実できるよう、伊勢まなび高等学校における平成31年度からの通級指導の開始に向け、校内の支援体制を整える必要があります。

平成31年度の取組方向

- ①就学前、小・中・高等学校、特別支援学校等の間で指導・支援に必要な情報が確実に引き継がれるようパーソナルカルテの更なる活用を進め、切れ目のない支援を行う体制作りに取り組みます。
- ②医療的ケアの必要な子どもたちが身体的に安定した状態で教育活動に参加することができるよう、医療的ケア実施マニュアルの活用やスキルアップ研修会の開催により、担当者の専門性の向上を図ります。
- ③特別支援学校高等部生徒の進路希望の実現と、地域生活への円滑な移行をめざして、引き続き職場開拓および職場実習を進めるとともに、各特別支援学校のキャリア教育プログラムを活用して、計画的・組織的なキャリア教育を推進します。また、企業等と連携した技能検定を実施します。
- ④小・中・高等学校の教員の特別支援教育に係る専門性の向上をめざして、各特別支援学校のセンター的機能による教育相談等を進めるとともに、かがやき特別支援学校において県立子ども心身発達医療センターと連携した発達障がいに係る研修会等の取組を進めます。また、小・中・高等学校の通級指導担当教員を対象にした研修講座を実施します。
- ⑤伊勢まなび高等学校において平成31年度から通級指導を開始し、個別の指導計画等を活用した効果的なソーシャルスキルトレーニングの指導を行うとともに、教員の専門性の向上を図るための研修を進めます。

主な事業

①（一部新）早期からの一貫した教育支援体制整備事業

【基本事業名：22401 早期からの一貫した支援の推進】

予算額：(30) 20,561千円 → (31) 25,438千円

事業概要：特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握し、自立と社会参画を図るため、パーソナルカルテの活用促進や高等学校における発達障がい支援員の配置を行うとともに、疾病により長期入院中の高校生に対する学習支援として、遠隔授業等の体制整備にかかる調査研究を行います。

また、特別支援学校に在籍する外国人児童生徒及び保護者を支援するため、通訳等を行う外国人児童生徒支援員を配置します。

②特別支援学校メディカル・サポート事業【基本事業名：22401 早期からの一貫した支援の推進】

予算額：(30) 6,334千円 → (31) 6,685千円

事業概要：医療的ケアの必要な子どもが身体的に安定した状態で教育活動に参加できるよう、常勤講師（看護師免許所有）および教員が連携して医療的ケアを実施するとともに、研修会の実施による専門性の向上や、医師等の指導・助言による校内体制の充実を図ります。

③特別支援学校就労推進事業【基本事業名：22402 特別支援学校のキャリア教育の推進】

予算額：(30) 9,392千円 → (31) 6,258千円

事業概要：特別支援学校におけるキャリア教育を推進するため、特別支援学校版キャリア教育プログラムの活用や外部人材による職場開拓を進めるとともに、企業、関係機関等と連携した職場実習等を実施することで、高等部生徒の進路希望の実現を図ります。

④特別支援学校スクールバス等運行委託事業【基本事業名：22403 特別支援学校の整備】

予算額：(30) 270,088千円 → (31) 291,005千円

事業概要：特別支援学校の児童生徒の通学に係る負担を軽減するため、スクールバスを運行します。